

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	非常備消防車両管理事業		コード	消防防災係
			01-04-02-08	担当者 中島和久
事業実施期間	平成17年～		電話	64-1809
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	安全で安心して暮らせるまちづくり		
	小項目	消防・防災		
	施策	消防体制の整備・充実		

事業について	
目的	消防団の消防車両を維持、管理することにより、災害時での円滑な団活動を図る。
対象 (誰のために)	消防団
内容	消防車両等の燃料費、修繕、車検、保険

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
消防車両等数	51 台

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	6,359	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,750	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	8,109	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.30	人
------	------	---

結果指標①	結果指標名	消防車両等
	結果指標量	51
	単位	台
	対前年比	—

結果指標②	結果指標名	事業費	円
	結果指標量	8,109,000	円
	単位	円	円
	対前年比	—	円

事業の成果			
成果指標名	1台当たりの維持、管理費用	式又は説明	事業費(8,109千円)÷台数(51台) 平成17年度を基準に、1台当たりの維持管理費用を抑える
	17年度		
成果指標量	159,000		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	158,800	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	災害への迅速な対応を行うための消防車両の適切な維持、管理を行うことができた。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	各車両の燃料費の毎月の確認により、経済的な使用を進めることができた。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	手段の最適化	—
	職場の効率化	
	目的達成度	
総合評価	市民参画度	—
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	
コメント	消防車両等の維持、管理を行う上での必要最低限度の経費であるが、消防団の見直し(部の統合等)考えることも必要である。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	効率のよい消防団の車両配備を検討すべき	平成20年度以降	消防車両の維持管理費の削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。